

Monthly

Yamagata West Rotary Club

Rotary



REPORT

8

August/2025

ロータリー月間テーマ
会員増強・
新クラブ結成推進月間

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

第3959回例会

「新しいホームページの活用について」

第3960回例会

「ロータリー事始め」

講師：樫畑 直尚氏（第2640地区 2018-2019年度 ガバナー）

第3961回例会

「経営者が知っておきたいハラスメント防止の基本」

講師：亀井 果織氏（キャリアコンサルタント）

2025-2026年度： 会長_五十嵐信 / 幹事_武田秀和

会報委員会： 佐藤淳(委員長) / 芦野茂(副委員長) / 高橋順弘 / 小野裕史 / 長澤純

8月を振り返って

とても暑い8月でした。

今月は、お盆休みを挟んで3回の例会がありました。

1回目は、新しいウェブの使い方について、坂部印刷さんとメコムさんのご担当の方からレクチャーを受けました。

今年からは、できる限り印刷物を削減し、必要な情報はホームページに蓄積する。

誰でも、いつでも、簡単に取り出せるような仕組みにする。

そして、一般公開ページと会員専用ページを明確に分けて運用する。

言葉にすれば簡単ですが、今年は思い切って舵を切ったばかりですので、すぐに慣れるのは難しいかもしれません。

改革は大胆に、しかし、対応は慎重に。

一年をかけて、みんなのものにしていく——そんなイメージで進めていければと思います。

もっとも、情報発信のスピードが求められるのも現実です。

ここは、ITリテラシーの高い一部の会員に頼らざるを得ないところでしょう。

どうか皆さまの知恵をお貸しください。

2回目の例会は、和歌山から檜畑直尚2640地区パストガバナーをお迎えし、1時間のセミナーをお願いしました。

オムニバス版は会報に、詳細は会員ページに掲載しています。

私は、「ロータリーソングの始まり」というお話がとても印象に残りました。

ふさわしくない講話を始めた卓話者を止めるため、ある会員が「さあ、歌おう」と立ち上がり、大きな身振りで指揮をして、皆でアカペラの流行歌を歌ったのが始まりだった——という逸話です。

これは使えそうですね。もっとも、会長あいさつの途中でこれをやられたらどうしようかと、少々心配にもなりました。

3回目の例会は、ハラスメント防止に関する卓話でした。

一方的に攻撃されることは不条理の極みであり、極めて遺憾なことです、

「梨下に冠を正さず」という言葉を片時も忘れてはならない——そう改めて感じ入った次第です。



五十嵐会長

リンク

・ [会長あいさつ0804](#)

・ [会長あいさつ0818](#)

・ [会長あいさつ0825](#)

幹事報告



武田幹事

真夏のさなかでしたが、皆様はどのように8月すごされたでしょうか。お盆の時期で日ごろ会えない人に会う機会もあったでしょうか。

今月で幹事報告を述べた主な内容を記載します。

- 今月のロータリーレートは149円です
- 会員名簿の更新時期です。更新をお願いします。

委員会報告



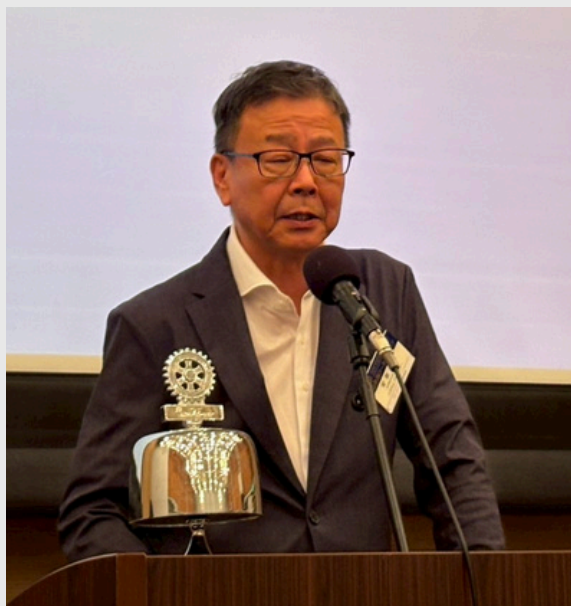
橋本広報雑誌委員長

- 戸田正宏会員の俳句がロータリーの友8月号に掲載されました！
(広報雑誌委員会)

- 例会卓話のアンケートを卓上に配置しました。QRコードで読み取って回答をお願いします(プログラム委員会)

例会卓話「新しいホームページの活用について」

担当：ロータリー情報委員会



安部ロータリー情報委員長

今回の卓話では安部ロータリー情報委員長を中心にホームページリニューアルについての説明を行っています。

- ・ 会員増強・新規会員候補への情報発信強化
- ・ 委員会活動の可視化・交流促進
- ・ グローバル補助金等、海外クラブとの連携に向けた多言語発信を目的としてホームページをリニューアルしている説明を行った。



新しいホームページの説明

サイト構築を行った(株)メコムさんより機能、特徴の説明をし、トップページに活動写真・動画・理念等を掲載し、会員専用ページでスケジュール・議事録・名簿・会報アーカイブ等を管理できることを述べ各委員会で投稿できるようにレクチャーを別途設けることを説明した

「ロータリー事初め」

講師：檜畑 直尚 氏

(国際ロータリー第2640地区 2018-2019年度ガバナー)

国際ロータリー第2640地区パストガバナー檜畑氏
(和歌山RC)をお招きしてのロータリー会員ラーニングセミナーを実施

ロータリーの歴史・トリビア

世界3万以上のクラブはシカゴロータリークラブが起源。

- ・ロゴの変遷
- ・1905年2月23日創立
- ・最初の社会奉仕事業は1907年シカゴ公衆トイレ設置。

- ・ポール・ハリスの創立動機：「寂しかったから」
- ・ロータリークラブの拡大

世界2番目はサンフランシスコロータリークラブ（1908年11月12日、78名）。

- ・災害時の国際的募金活動（サンフランシスコ大地震、関東大震災、東北大飢饉）。

- ・歌の起源（陰悪な雰囲気の開き、気分転換）。

- ・ロータリーが団体に歌う最初の例

- ・昼食会の起源：会員の遅刻がきっかけ。

- ・創立記念日

- ・ニコニコ箱

- ・ファーストネーム文化

- ・日本のロータリーソング・国旗国歌

- ・ソングリーダーの役割 タクトを持たず、雰囲気重視。

- ・ロータリー認知度向上のためロゴに「Rotary」文字追加。

などのロータリーにまつわる各種のことを教えていただきました。



檜畑 直尚 PDG

「経営者が知っておきたいハラスメント防止の基本」

講師：亀井 果織 氏

(キャリアコンサルタント)



亀井 果織 氏

ハラスメントは被害者・加害者だけの問題ではなく、企業の信頼を損なう経営課題である。

経営者がハラスメント問題に関心を持ち、防止に取り組む姿勢を見せることが、ハラスメントに強い会社を作る上で最も重要であるということを述べられた。

ハラスメントの種類と現状: パワハラ、セクハラ等に加え、新しいハラスメントが次々と生まれている。相談件数が最も多いのはパワハラで、パワハラは上司から部下だけでなく、同僚間や部下から上司へのケースも含まれる。厚労省の調査では労働者の5人に1人が過去3年間にパワハラを受けたと回答。「自分の会社は大丈夫」という油断が最も危険である。

- ・企業のパワハラ対策の4つの義務の紹介
- ・安心できる環境作りの3つのポイントの紹介

また、パワハラの意味やアンガーマネジメントを紹介や事実確認から再発防止までの説明を行った。

その後、ハラハラ(「ハラスメントだ」と主張すること自体がハラスメントになるケース)やスメハラ(タバコや香水などの匂いによる嫌がらせ)など多様化するハラスメントの具体例を紹介した。